

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年8月7日

【四半期会計期間】 第5期第3四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 株式会社グローバルキッズCOMPANY

【英訳名】 Global Kids Company Corp.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 石橋 宜忠

【本店の所在の場所】 東京都千代田区富士見二丁目14番36号

【電話番号】 03-3221-3770(代表)

【事務連絡者氏名】 財務IR部長 生川 雅也

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区富士見二丁目14番36号

【電話番号】 03-3221-3770(代表)

【事務連絡者氏名】 財務IR部長 生川 雅也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第4期 第3四半期 連結累計期間	第5期 第3四半期 連結累計期間	第4期
会計期間		自 2018年10月1日 至 2019年6月30日	自 2019年10月1日 至 2020年6月30日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高	(百万円)	14,487	16,561	19,694
経常利益	(百万円)	1,743	865	1,786
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	1,092	451	1,116
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	1,105	468	1,114
純資産額	(百万円)	7,697	8,181	7,706
総資産額	(百万円)	18,318	18,558	18,259
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	119.69	49.15	122.24
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	116.56	48.17	119.23
自己資本比率	(%)	41.9	44.0	42.1

回次		第4期 第3四半期 連結会計期間	第5期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	103.91	33.06

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続いているものの、新型コロナウイルス感染症の拡大等により経済活動の停滞懸念が台頭しており、景気の減速感が強まっております。

このような環境のなか子育て支援事業を取り巻く状況は、女性の社会進出に対する意識の変化や政府による女性の活躍推進などにより、共働き世帯数や女性の就業率は上昇傾向にあり、保育に対する需要は引き続き高い状況にあります。

こうした保育需要増加に対応するため、政府・自治体が保育の受け皿拡大を目的に保育士確保や保育所整備の施策を進めており、2020年度末までに保育の受け皿を300万人分程度とする方針を掲げています。こうした政府の取り組みの結果、保育所数が増加していることもあり、保育所の新設に対する需要は今後、ややペースダウンすることが想定されます。一方で、東京都心部では人口流入による、保育需要の増加が続いていることから、地域による濃淡はあるものの、保育所の新設に対する需要は当面の間、一定程度続く見込まれます。

高齢化や総人口の減少による労働人口の減少が懸念されるなかで、経済の活力の担い手となる女性の社会進出のためには保育環境の整備、保育の質向上が課題であり、子育て支援事業者の社会的役割は一段と重要性を増しております。

こうした状況のもと、当社グループは東京都と神奈川県において、新規施設の開発を進め、当第3四半期連結会計期間に以下のとおり認可保育所7施設、児童発達支援事業所3施設を開設しております。

この結果、当社グループは当第3四半期末時点で認可保育所125施設（東京都91施設、神奈川県25施設、千葉県3施設、埼玉県1施設、大阪府5施設）、認証保育所・認定こども園等保育施設23施設、企業主導型保育所11施設、学童クラブ・児童館13施設、児童発達支援事業所4施設の計176施設を営んでおります。

#### (保育所)

##### 東京都

グローバルキッズしなのめ園  
グローバルキッズ曳舟保育園  
グローバルキッズ目黒園  
グローバルキッズ六郷保育園  
グローバルキッズ小金井第二保育園

##### 神奈川県

グローバルキッズ大倉山園  
グローバルキッズ大船園

#### (児童発達支援事業所)

##### 東京都

グローバルキッズAct目白

##### 神奈川県

グローバルキッズAct大倉山  
グローバルキッズAct宮前平

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、運営施設数の増加を主因とした園児数拡大により売上高が増加しました。新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の発令を背景に園児の登園率が低下しましたが、自治体の補助金については通常どおり支給され前年同期比で増加しております。費用面では、販売費及び一般管理費の抑制に加

えて、登園率低下により変動費が減少しました。

なお、新規開園資金のうち一部(内装工事等)に対して自治体から補助金が交付された場合、営業外収益の「補助金収入」に計上されます。当社グループにおける保育所等の新規開設は4月に集中するため、第3四半期(4月～6月)に補助金収入が多額に計上される傾向があります。当第3四半期連結会計期間においても、新規開設を進めたため多額の補助金収入を計上しております。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高16,561百万円(前年同期比14.3%増)、営業利益415百万円(同119.1%増)、経常利益865百万円(同50.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益451百万円(同58.7%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ298百万円増加し18,558百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ254百万円増加し4,065百万円となりました。これは、未収入金が525百万円減少したものの、4月の新規開園により設備投資に係る補助金が交付され現金及び預金が652百万円増加したことが主因です。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ43百万円増加し14,492百万円となりました。これは、保育所の新規開設に伴い建物及び構築物が56百万円増加したことが主因です。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末と比べ176百万円減少し10,376百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ31百万円減少し3,055百万円となりました。これは、未払金が98百万円、前受金58百万円が増加した一方で、引当計上期間の差異により賞与引当金が265百万円減少したことが主因です。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ145百万円減少し7,320百万円となりました。これは、繰延税金負債が151百万円増加したものの長期借入金が346百万円減少したことが主因です。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ475百万円増加し8,181百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が451百万円増加したことが主因です。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年8月7日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	9,209,880	9,224,880	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	9,209,880	9,224,880		

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2020年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日 (注)	19,000	9,209,880	0	1,278	0	2,546

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2020年3月31日

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,187,800	91,878	
単元未満株式	普通株式 2,080		
発行済株式総数	9,190,880		
総株主の議決権		91,878	

## 【自己株式等】

2020年3月31日

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社グローバルキッズCOMPANY	東京都千代田区富士見二丁目14番36号	1,000		1,000	0.01
計		1,000		1,000	0.01

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,480	2,133
未収入金	1,932	1,407
前払費用	392	518
その他	6	6
流動資産合計	3,810	4,065
固定資産		
有形固定資産		
土地	589	635
建物及び構築物(純額)	10,640	10,697
建設仮勘定	32	15
その他(純額)	437	424
有形固定資産合計	11,701	11,772
無形固定資産		
ソフトウェア	30	56
ソフトウェア仮勘定	23	4
無形固定資産合計	54	61
投資その他の資産		
投資有価証券	79	111
長期前払費用	705	612
敷金及び保証金	1,546	1,612
建設協力金	324	308
繰延税金資産	10	13
その他	26	0
投資その他の資産合計	2,693	2,659
固定資産合計	14,448	14,492
資産合計	18,259	18,558
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	907	893
1年内償還予定の社債	23	
未払金	1,228	1,327
未払法人税等	93	71
前受金	71	130
賞与引当金	553	287
その他	209	344
流動負債合計	3,087	3,055
固定負債		
長期借入金	5,032	4,685
退職給付に係る負債	255	285
繰延税金負債	1,852	2,003
資産除去債務	319	342
その他	6	3
固定負債合計	7,466	7,320
負債合計	10,553	10,376

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,275	1,278
資本剰余金	1,963	1,966
利益剰余金	4,522	4,974
自己株式	0	1
株主資本合計	7,760	8,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
退職給付に係る調整累計額	72	55
その他の包括利益累計額合計	73	55
新株予約権	19	19
純資産合計	7,706	8,181
負債純資産合計	18,259	18,558

## (2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	14,487	16,561
売上原価	12,558	14,427
売上総利益	1,929	2,133
販売費及び一般管理費	1,739	1,718
営業利益	189	415
営業外収益		
受取利息	5	5
補助金収入	2,004	608
その他	5	2
営業外収益合計	2,015	616
営業外費用		
支払利息	25	22
開設準備費用	432	143
その他	3	0
営業外費用合計	461	165
経常利益	1,743	865
特別利益		
事業譲渡益		27
特別利益合計		27
特別損失		
減損損失		1 137
システム解約損失	16	
投資有価証券評価損		2 6
関係会社株式評価損		3 26
特別損失合計	16	169
税金等調整前四半期純利益	1,727	723
法人税等	634	272
四半期純利益	1,092	451
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,092	451
非支配株主に帰属する四半期純利益		
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	0
退職給付に係る調整額	13	16
その他の包括利益合計	12	17
四半期包括利益	1,105	468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,105	468
非支配株主に係る四半期包括利益		

【注記事項】

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

1 減損損失

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
施設 (3施設)	建物及び構築物 有形固定資産「その他」	埼玉県戸田市 他	95
本部	ソフトウェア	本社(東京都千代田区)	41

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位に基づき、施設を基本単位として資産のグルーピングを行っております。このうち、営業損益が悪化している施設について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失(建物及び構築物89百万円、有形固定資産「その他」6百万円)として特別損失に計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローが見込めないため零としております。

また、業務効率化を図るために構築したシステムの開発に要した経費をソフトウェア仮勘定に計上してはいたが、当初の計画どおりの成果が見込めないことが判明したため資産価値が減少したと判断し、減損損失として特別損失に計上しております。

2 投資有価証券評価損

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

当社が保有する「その他有価証券」に区分される有価証券のうち実質価額が著しく下落したものについて、減損処理を実施したものであります。

3 関係会社株式評価損

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

非連結子会社であるGLOBAL KIDS VIETNAM COMPANY LIMITEDの株式に関する評価損であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費	532百万円	610百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「子育て支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	119円69銭	49円15銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	1,092	451
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	1,092	451
普通株式の期中平均株式数(株)	9,129,269	9,184,483
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	116円56銭	48円17銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(株)	245,504	187,858
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月6日

株式会社グローバルキッズCOMPANY

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	岩 崎 剛	印
--------------------	-------	-------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	杉 江 俊 志	印
--------------------	-------	---------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グローバルキッズCOMPANYの2019年10月1日から2020年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グローバルキッズCOMPANY及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。